



変化に富んだ四季、  
心躍るまつり、  
表情豊かな自然 —— 。  
今年もたくさんの  
秋田市の“いいとこ” 紹介します。

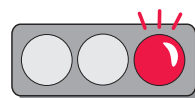
## 新春市長コラム「新たなステップを」

特集 ◆新庁舎は秋田らしく ◆映画「遠くでずっとそばにいる」

# 広報 市民の生活情報誌

# あきた

2013  
平成25年  
1月4日号  
NO.1784



日々の生ごみの水  
切り、雑がみ分別  
にご協力を

### エコアちゃんの ごみ減量速報



環境都市推進課 ☎(866)2943

家庭系ごみの排出量 (資源化物を除く)

	昨年 11 月の 家庭系ごみ排出量	5,482 トン (H23年同期より287ト減)
1人1日当たり	減量目標 (平成 24 年度まで)	556 グラム
	昨年4月～11月の 排出量累計から算出	620 グラム
	目標との差	64 グラム (封筒 11 枚分)







にぎわい交流館AUにて

市民のみなさん、明けましておめでとうございます。  
平成25年の干支「巳」には、「巳」(止む)という意味があり、草木の生長が極限に達して、次の生命が作られ始める時期という解釈(※)もあるようです。また、何かがきっかけになって、急に物事の実態などがよく見え、理解できるようになることを例えて、「目からうろこが落ちる」と言いますが、ヘビは目もうろこで覆われていて、脱皮するときに文字どおり目から「うろこ」が落ちるそうです。  
気がつけば、新世紀の幕開けであった2001年から干支も一巡しました。さすがに落とす

うろこはありませんが、せめて目を大きく見開いて、物事の本質を見極め、次の成長に向けた新たなステップを踏み出す、そんな1年にしたいものです。  
※漢書「律曆志」より。  
さて、昨年を振り返ってみますと、年明けから気温が低く雪の解けにくい状態が続き、平年を上回る積雪量となる一方で、9月の真夏日が史上最多という記録的猛暑が続くなど、いつも以上に寒暖の差が激しかったように思います。

## 秋田から世界へ

そして、真夏の日本列島をより一層熱くしたロンドン五輪では、過去最多のメダル獲得という日本選手団の活躍もありました。また、本市出身である女子バレーボールの江畑幸子選手、新体操団体の深瀬菜月選手の活躍には胸を熱くしました。「はずむスポーツ都市」を推進する本市から、お二人のように世界へ羽ばたく選手が続くことを楽しみにしています。  
一方、経済や社会のグローバル化が進む時代にあつて、秋田市も、東アジアそして世界に向けて積極的に情報発信しています。  
高齢者が暮らしやすいまちを

めざすエイジフレンドリーシティ構想については、日本で初めてWHO(世界保健機関)グローバルネットワークに参加しました。世界に類がない速度で高齢化が進むわが国として秋田県にあつて、ピンチをチャンスに変える発想で高齢社会政策の範とするものを築きたいと思えます。  
さらには、中国南寧市での秋田産品の営業拠点となる「秋田ショップ」の開設をはじめ、秋田空港・秋田港を活用した韓国からの誘客や環日本海貿易の促進にも取り組んでおり、今後グローバルな視点でここ秋田から大きく翼を広げていきたいと思えます。

# 新たなステップを 踏み出す年に



秋田市長 穂積 志

天災は  
忘れたころに  
やって来る



常陸太田市、仙北市と災害時の相互応援に関する協定を締結(9月8日)



手に手をとって(下浜地区での防災訓練)

## 震災の記憶を 風化させない

未曾有の大災害となった3・11、東日本大震災からすでに1年9か月余りが過ぎましたが、本格的な復興までにはまだ長い道のりがあります。本市でも、昨年9月から岩手県野田村の災害廃棄物を受け入れているほか、宮城県石巻市と気仙沼市に市職員を長期派遣するなど、一日も早い復興に向け、同じ東北の一員として支援を続けています。

ところで、あれだけの被害があつたにもかかわらず、少しずつ私たちの中で震災の記憶が薄らいでしまつてはいないでしょうか。

「天災は忘れたころにやって来る」。物理学者で、文学者でもある寺田寅彦の言葉だそうですが、みなさんも耳にされたことがあると思います。地震大日本において、いつ再び大地震が起こるか分かりません。被害をいくらかでも小さくするために、一人ひとりの常日頃の備え

が重要になります。もとより、市民の暮らしを守ることは私たち行政の大事な役割であり、本市でも震災を教訓にさまざまな対策を講じています。

例えば、災害発生時の停電に対処するため、主要な避難所に発電機や照明器具、暖房機を配備するとともに、備蓄物資を補充しました。また、津波避難ビル・避難場所の指定や津波警報サイレンの補強・新設、秋田県警・地元ラジオ局との災害時優先放送に関する協定、エリアメール、ツイッターなどによる情報伝達の強化・多重化も図っています。

さらに、連携交流提携を結んでいる茨城県常陸太田市、仙北市との災害時の相互応援に関する協定や、広範囲にわたる甚大な被害が発生した場合、同時に被災する可能性が低い四国の徳島市との協定締結など、万一の備えを充実させています。

また、東日本大震災では、太平洋沿岸の三陸地方に伝わる「津波でんでんこ」という言葉が注目されました。「津波が来たら、人にかまわず必死で逃げろ」という意味だそうです。

災害発生時には、まさに自らの手で自らを守る「自助」が基本となります。

そして、初期消火や被災者の救出・救護などで大きな力となるのが、隣近所による助け合いなどの「共助」です。近所付き合いや高齢者への声かけなど、日頃の心配りがいざというときに力を発揮します。もちろん、本市でも市民を災害から守るためのさまざまな対策、「公助」に努めます。

この「自助」「共助」「公助」を基本理念とし、市民、事業者そして市が連携を図りながら災害対策に取り組むため、本市では災害対策基本条例を昨年制定しました。この条例の理念に従って、市民が安心して暮らすことのできる地域社会の実現をめざしています。

みなさんも震災の記憶を風化させることなく、まずは懐中電灯や携帯ラジオ、水、食料などの備蓄とともに、避難場所や避難経路の確認、災害時の連絡方法など、日頃の心がけについて、ご家族が揃うお正月に話し合ってみてはいかがでしょうか。

(次のページへ)





元気な秋田に、よ〜いドン！（岩見三内保育所）

## 市政運営をふり返る

さて、市民の負託を受けて秋田市長に就任してから、早いもので3年9か月が経とうとしています。この間、生まれ育ったふるさと秋田市を元気にし、次の世代へ引き継ぎたいという思いを胸に、市政運営に邁進してきました。

将来のあるべき姿を見据えながら、本市の基盤づくりを進めるとともに、市民サービスの向上に向け、さまざまな種をまいてきました。環境立市をめざす「あきたスマートシティ・プロジェクト」に基づく町内防犯灯約2万8千灯のLED化、子どもを生み育てやすい社会の実現

に向けた「次世代の育成支援」として待機児童の解消、「エイジフレンドリーシティの実現」の第一歩となる高齢者コインパスの導入など、取り組みの成果も徐々に実を結んできています。また、選挙の際に掲げた全40項目の公約をはじめ、今任期を振り返ったとき、自分なりの目標はほぼ達成できたものと考えています。

市長就任1年目には、経済雇用対策をはじめとするリーマンショック後の喫緊の課題に全力で取り組む一方、市制施行120周年という節目の年に当たり、市民企画イベント「秋だし、あきた市」と題し、市民から寄せられた大切な人に宛てた手紙の展示など「絆」をメインテーマにユニークな記念事業も実施しました。

2年目には、本市の事務事業を総点検するとともに、中長期的な将来ビジョンとなる第12次総合計画「県都『あきた』成長プラン」と、第5次行政改革大綱「県都『あきた』改革プラン」を策定しました。また、この年は、秋田県初のプロスポーツチームとなるバスケットbjリーグ



巳年をテーマに一筆（飯島のいきいきサロン「書道教室」）

リーグ「秋田ノーザンハピネッツ」の誕生という、うれしいニュースもありました。昨シーズンは、東地区3位に終わりましたが、今シーズンこそ有明コロシアムでのファイナルに進出し、リーグ優勝を勝ち取れるよう、みなさんと共にハピネッツを応援したいと思います。

そして3年目は「成長プラン」と「改革プラン」の2つをスタートさせ、着実な成長と不断の改革に努め、将来に引き継ぐこと

# 元気な秋田市を 次世代へ 引き継ぐために



「美大」設置認可決定の記者会見にて(11月9日)



エリアなかいちのオープニング(7月21日)

## 誇りと愛着を 持てるまちに

のできる本市の基盤づくりを進めました。また、家庭系ごみの有料化や受益と負担の適正化といった諸課題にも、先送りすることなく取り組みました。

任期4年目の今年度は、長年にわたる懸案事項であった中通一丁目地区の市街地再開発がいに完成し、日赤・婦人会館跡地一帯が、秋田市、ひいては秋田県の顔となる「エリアなかいち」として生まれ変わりました。

オープン以降、目標を上回る大勢のみなさんからにぎわい交流館AUをはじめとするエリア内の各施設に足を運んでいたの中心市街地から着実に新たなにぎわいが生まれています。

昨年、大臣発言で二転三転した秋田公立美術大学の設置認可を巡っては、多くのかたにご心配をおかけしました。何とか無事に認可され、今年4月の開学をめざして現在準備を進めています。質の高い大学となることはもちろん、東北地方唯一の美

術系公立大学として、芸術・文化をいかしたまちづくりの中核となるよう、しっかりと取り組んでいきます。

また、今年の夏には市役所新庁舎の建設工事に着工し、地上6階・地下1階からなる新庁舎が再来年には完成する予定です。みなさんに親しまれ、次世代へ引き継がれる庁舎の建設をめざします。工事期間中は何かとご不便をおかけすることもあるかと思いますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



国政の動向を含め、本市を取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。急速な少子高齢化や人口減少が進む中、「県都『あきた』成長プラン」の基本理念「ともにつくり ともに生きる 人・まち・くらし」の実現に向けたさまざまな取り組みも緒に就いたばかりです。引き続き、市民が誇りと愛着を持てるまちをめざして、日々全力で取り組んでまいりますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

本年がみなさんにとって、良い1年となりますように――。



ともにつくり  
ともに生きる  
人・まち・くらしの実現へ



# 新庁舎が平成27年度に完成

市民に親しまれ、次世代へ引き継がれる庁舎をめざし、  
人にも地球にもやさしい

## 「秋田らしい新庁舎」をつくります。



敷地西側から見た庁舎外観イメージ

### 本格的に動き出す 一大プロジェクト

現在の市役所本庁舎と議場棟は、昭和39年10月の完成から50年近く経過して建物の老朽化が進み、同時に耐震診断により地震への安全性の不備が指摘されています。また狭隘化（狭くなると）により、窓口機能が別棟の建物にも分散するなど、市民のみなさんに不便をおかけしている状況にあります。

これらを踏まえ、市では建物の基本コンセプトやスケジュールなどを検討し、平成23年3月に基本構想を策定。現在、その方針に基づいて設計作業を進めています。そして平成25年に着工、平成27年の完成をめざす一大プロジェクトが、いよいよ本格的に始動します。

#### 基本コンセプト1

市民に親しまれ、市民サービスの実現する、  
人にやさしい庁舎

● 窓口部門を1・2階に集めるほか、複数の用件を1か所で行うことができる総合窓口を設置します。

● 2・3階に（仮称）中央市民サービスセンターをつくり、市民が利用できる会議室・音楽室や子育て交流ひろばなどを設置します。

● 高齢者や障がい者をはじめ、誰にも安全で分かりやすく、利用しやすい建物にします。

● 来庁者用の駐車場と本庁舎を結ぶ通路には、屋根と融雪設備を設置します。

#### 基本コンセプト2

防災拠点となる、

市民に安全・安心な庁舎

● 大地震による強い揺れを軽減する免震構造や、非常用発電・太陽光発電設備などにより、災害発生時でも業務を継続できる防災拠点施設とします。

● 1階の市民ホールなどを活用して市民が必要とする災害・安否確認情報などをいち早く提供します。

#### ■新庁舎概要

敷地面積▶25,851.4㎡

延べ面積▶約31,000㎡  
(うち駐車場約2,100㎡)

\* 現庁舎地下改修部分を除く。

構造▶鉄筋コンクリート造

階数▶地上6階地下1階

高さ▶約30m

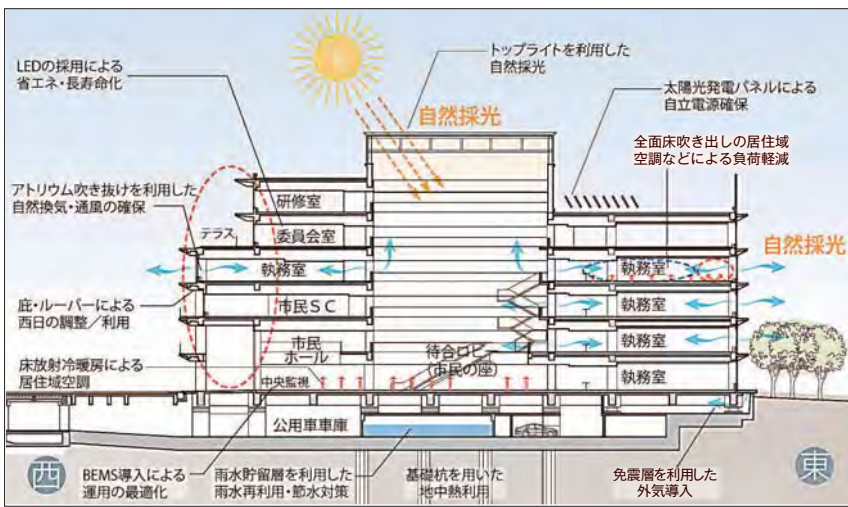
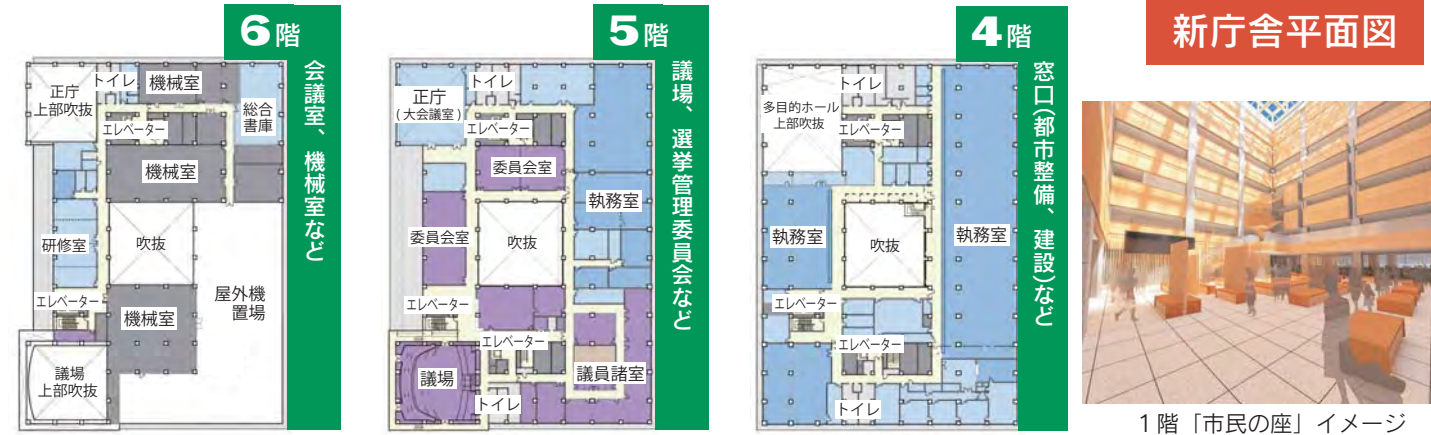
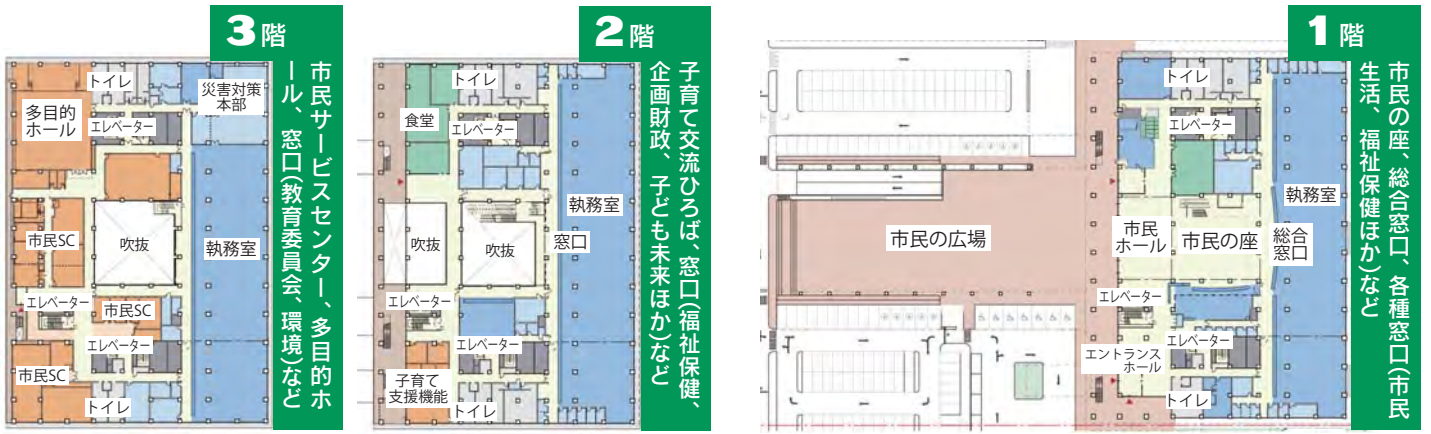
#### ■問い合わせ

新庁舎建設室 ☎(866)8915

Eメール ro-gnop@city.akita.akita.jp

\* 新庁舎の設計の詳細や建設に伴う工事日程などは、改めて広報あきたなどでお知らせします。





BEMS=ビルエネルギー管理装置

◀新庁舎断面図と省エネ構造  
▼新庁舎配置図



**基本コンセプト3**  
環境共生へ取り組み、地球にやさしい庁舎

● 吹き抜け空間を利用し、自然採光や換気を行うなど、自然エネルギーを効率的に活用します。

● 「環境立市あきたの実現」に向け、太陽光など再生可能エネルギーを導入し、同時に庁舎内の消費エネルギーを把握することで、その効率化に努めます。

**基本コンセプト4**  
秋田の地域性を生かし、周辺環境と調和した庁舎

● バルコニーの軒裏に秋田杉を使うことで、周辺の緑に映えて秋田らしい表情を見せる庁舎にします。

● 建物の高さを低く抑え、周囲の緑地との一体的な景観をつくります。

**基本コンセプト5**  
今ある資産を活用し、長く使い続けられる庁舎

● 現庁舎の地下部分は耐震補強をして地下駐車場に使用し、現庁舎北側にある分館は耐震補強と設備改修をして有効に活用します。

● 100年使い続けることを考えて、中期の維持管理を計画します。



まち+ひと+映画

“遠くでずっとそばにいる”

# ビッグアップ ワンシーン③

拡大版



撮影の打ち上げ?ではありません。交通事故で記憶をなくす前の朔美(倉科カナさん)が同級生たちとキャンプに出かけた時の写真用のカット。朔美と細見(中野裕太さん)が面白い雰囲気です。

秋田市がロケ地の映画「遠くですつとそばにいる」(今年6月に公開予定)の現場風景のワンシーンを切り取って、一足早く紹介するコーナーです。

退院する朔美を気遣う細見



朔美の義妹役の清水くるみさん



朔美の元同僚役の藤澤恵麻さん。朔美の過去に因縁が…



前回、このシリーズでも紹介した六角精児さん

## みんなの撮影日記



現場で炊き出しを担当した外旭川地区のみなさん

外旭川で撮影があると聞き、主婦ならではの家庭的な温かいご飯を差し入れたいと思います。とんぶり入りのおにぎりと豚汁、焼ハタハタ、自家製がつこなど8品のメニューは、前日に市民市場で買い物しながら決めました。やっぱり主婦感覚です(笑)。

50人分という普段作らない量でしたが、みんな手際よく3時間ほどで完成しました。倉科カナさんを始め、みなさんおいしいと食べてくれて自信がついたので、また何か撮影があったら秋田の家庭料理をごちそうしたいですね。





遠くですっとそばにいる

原作・脚本◆<sup>いぬかい</sup> 狗飼恭子

監督◆長澤雅彦

出演◆<sup>くろしな</sup> 倉科カナ、中野裕太、<sup>か</sup> 伽奈、岡田奈々、大間ジロー、清水くるみ

ほか

◆映画のストーリー◆

交通事故で10年分の記憶を失った主人公・志村朔美。外見は27歳でも頭の中は17歳のまま。「今の世界」はまるでタイムマシンで連れてこられた未来のよう。

そんな中、朔美は恋人(…と思われる)細見良彦や同級生の大島薫とともに、失われた記憶をたどり始める。その先には思いもよらない真実が…。

原作は作家の狗飼恭子さんの同名小説。狗飼さんが旅行で秋田市を訪れた時、心を動かされた千秋公園のハスが重要なモチーフ(題材)となっています。



「遠くですっとそばにいる」  
狗飼恭子著(幻冬舎文庫)



朔美と同級生の大島薫(伽奈さん)がバーで語り合うシーン。薫は性同一性障害という設定。朔美は薫との会話から記憶の断片を探っていきます。

細見は地元の郵便局員



朔美の高校の同級会シーン

撮影の合間に談笑する倉科さん



秋田駅西口でのロケ風景

撮影は夕方から深夜まででしたが、楽しくてあっという間でした。どんな表情で映っているか公開が楽しみです。



朔美の同級生を演じた小玉夕美子さん(右)と西里愛香さん







# 雪の動物園

1月5日(土)から2月24日(日)までの  
土・日、祝日のみ開園

午前10時～午後3時  
(入園は午後2時30分まで)



人気のまんまタイムやエサやり体験、飼育員による動物解説も随時開催します。  
詳しくは園内掲示板やホームページで!

**入園料** 700円(中学生以下は無料)  
年間パスポート(1,200円)も使えます

大森山動物園

検索

大森山動物園 ☎(828)5508

★冬期開園中、園内の売店と食堂  
は遊園地を除きすべて営業!

来てね♪



## 謹賀新年

議 副 議 市 副 副 市  
員 長 長 会 長 長 長

今年もよろしく  
お願いいたします

赤相渡相花芦佐小加小鎌工齊鳥小堀石岩渡菅今齊小伊佐倉佐伊佐津川見松長工佐鈴成小鎌石穂  
坂原辺場田田原林屋原田藤藤井寺井塚谷辺原川藤松藤藤田藤藤藤谷口上田澤藤藤木沢田田井積  
(議席順) 光政良金清晃孝一千鶴 修四善 明秀政正琢雄 巧哲芳純一宏 雅万豊孝新広 淳喜美 周  
一志雄二美敏夫夫子讓悦郎悦修誠美博良宏哉策勝健一治浩子榮悦聡丈子臣政一久知子雄悦志